

公園の花だより



港南公園 B



発行日
2020年3月

指定管理者 アカネ・ハリマ・イビテングループ

古くから日本人が親しんできたサクラ。昔の人々は、
サクラの開花を農作業のめやすとし、「花見」はもともとは
秋の豊作を祈る場でした。

平安時代には都にサクラが植えられ、和歌にも多く詠まれるよう
になります。鎌倉時代になると、都にはなかった品種ができ、栽培
の技術も進みました。江戸時代になると、桜の名所が各地に作ら
れて、人々の間でも花見がさかんに行われるようになります。
現在、もっともよく見かけるサクラは、江戸の終わり
から明治にかけて生まれた「ソメイヨシノ」
という品種です。

「品種」とは・・・人が、もともとその土地に生育している自然の
ままの植物の中から、かわったものを選んだり、
組み合わせ作り出した植物をさします。

